

～磐田市陸上競技場リニューアルイベント～

飯塚翔太選手と走りました！

3月14日(土)に磐田市陸上競技場のリニューアルを記念して、パリオリンピック日本代表の飯塚翔太選手による陸上教室が開催されました。

当日は小学生向けと中学生向けに分かれて行われ、市内の小中学生約200人が参加し、新たな陸上競技場のトラックの上を笑顔で駆け抜けました。

飯塚選手による、速く走るための身体の使い方や、記録向上を目指したレベルの高い指導を受けた参加者からは「飯塚選手の走りが速くて驚きました。体を動かすことは好きなので、またここで走りたいです」などの感想が聞かれました。



▲鬼ごっこで楽しむ参加者たち



▲新しいトラックを一緒に走りました

【ミズノ所属 いづかしょうた 飯塚翔太選手】

御前崎市出身。オリンピックや日本選手権、世界陸上にて好成績を収め続ける。2024年のパリオリンピックが4回目のオリンピック出場となり、陸上短距離の個人種目では初のオリンピック4大会連続出場を果たした。

- ・2016年リオデジャネイロ五輪 4×100mリレー 銀メダル
- ・2017年世界陸上ロンドン大会 4×100mリレー 銅メダル

☎ スポーツのまち推進課 ☎ 0538-37-4832



大クスノの下から

第56回

「21年目の春、新しい『誇り』とともに」

市長 草地博昭

市制施行20周年という大きな節目を終え、私たちは今、新しいスタートラインに立っています。10年後にどんな変化が待っているのか、社会の移り変わりに不安を感じることもありますが、それ以上に、このまちに眠る無限の可能性に胸をワクワクさせています。20周年の記念事業を企画する際、私

「大人が誇りに思っていないものを、子どもが誇りに思うことはない」と言えば、戻ってきたいと思う子どもはいない。何もないまちななど

「このまちを誇りに思えるか」という視点でした。

例えば、職業・社会体験イベント「アウトオブキッズニア」では、輝く大人たちとの出会いが、子どもたちに「将来、磐田で働こう」という夢を育むきっかけとなりました。同時に、受け入れ企業の社員の皆さんが自社の魅力を自信を持って語る姿も印象的でした。

まさに、大人が自分のまちの魅力を語り愛着を持つことが、子どもたちの自分のまちへの思いに強く影響し、磐田市の未来につながる大切なことだと考えます。

また、2月に行われた歴史シンポジウム「春風亭昇太と語る秀吉時代の磐田」や、遠州社山城！

「宝」があります。これからも未来に向けて市民の皆さんとともにそれらを磨き、誇りに思えるまちに育てていきたいと思えます。新しい春を迎え、皆さんのそれぞれの場所での活躍を心から願っています。

「や現在開催中の「木下大サー